

市長と語ろう地域ミーティング〔 国高地区 〕開催結果

開催日時 平成21年 5月7日(木)午後7時30分から9時まで
会場 国高公民館 2階 講堂
出席者(地区) 78人
(市側) 市長、建設部長、水道部理事、都市計画課長、防災安全課長、教育総務課長、生涯学習課長、総務部政策幹、市民生活部政策幹、教育委員会政策幹
進行 市民自治推進課長
記録 (市民自治推進課) 主事
担当 (政策推進課) 副課長
(秘書広報課) 主幹

市民憲章唱和

平成21年度コミュニティ助成事業 決定通知書伝達

国高地区自治振興会会長あいさつ

皆さん、こんばんは。あいにくの雨になりまして、もっとたくさんの方がこられる予定でしたが、連休明けでもあり若干少ないかと思えます。

日頃から、市長をはじめ市当局におかれましては、国高地区のまちづくりにご支援ご協力を賜り、お礼申し上げます。

越前市では、「元気な自立都市 越前」を目指し、総合計画を立て、その基本理念を自立と協働とされました。また、今回、区長会連合会と自治振興会連合会が解散し、5月16日に自治連合会が新たに設立されます。自分の地域は、自分で作り、守るという方向が整ったと思います。

国高地区においても、全区長が自治振興会に参画し、まちづくりを共に検討しながら、元気に楽しく事業展開をしたいと思っておりますが、簡単にいかないところもあります。時間をかけながら、まちづくりを行っていききたいと思っております。

今日は、市の方から国高地区における地域整備の方向性等についてご説明していただく中で、国高地区が求める国高のあり方やまちづくりの将来展望について、どうしたら喜びながら子孫に残せるのかも含めて協議し、よりよいまちづくりを行っていききたいと思っております。多くの皆さんのご意見をいただきながら、地域づくりを行っていききたいと思っておりますので、今日は忌憚のないご意見をお願いします。

議員紹介（市議会議員）

市長あいさつ及び説明

（添付資料参照）

出席職員の紹介

意見交換

【代表質問】

Q 1：稲寄町区長

<戸谷片屋線関連事項について>

県施工工事について、路盤の骨格が見え、日野川の橋梁の建設も始まり、計画通りスピードをあげた形で工事が進んでいると思います。並行して、市施工部分についても昨年度から地元説明会や測量、用地買収問題等打合せをさせていただいています。用地買収にかかわる稲寄、馬上免、国高3丁目だけでなく、瓜生町や高木町等についても、国高に大きい道路ができることで分断されることを心配しています。国道等の交差点には信号がつくと思いますが、一番心配しているのは通学路です。信号は県の担当で、市は努力するという答えはいただいておりますが、具体的な設置箇所の回答はいただいております。

事故が起きる前に、高齢者や児童はじめ地域住民が安全に道路を横断出来るよう、安全と安心を最優先に考慮して、必要な信号機の設置を要望します。

A 1 - 1：防災安全課長

戸谷片屋線の整備については、地域からの要望を踏まえ、現在、市役所内の関係課で課題についての協議を行っています。戸谷片屋線の整備に伴い必要となる信号機の設置箇所につきましては、地元からの要望も踏まえ越前警察署等との協議も行い、2月末に、福井県公安委員会へ要望書を提出しました。

しかし、県の予算も限られるため、越前市内で何十箇所も要望していても、1年間に設置されるのは1～2箇所程度にとどまっている状況です。

今後とも、利便性・安全性の観点から県に力強く働きかけをしていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

A 1 - 2：市長

戸谷片屋線関連の雨水対策などのご要望については、地元の皆様のご期待に沿えるよう、市としての対応を建設部だけでなく関係各課で調整し行っています。

しかし、信号機については、県の公安委員会設置ということになりますので、市の立場として何年度に何機といったお約束はできませんが、非常に交通量の多い道路になりますので、県としても、通常の道路の問題とは違う形でご支援いただけると信じていますし、

市としても精一杯要望を続ける中で、皆様のご要望にお応えできるようがんばる決意をしています。

Q 2：稲寄町区長

村国中央線の整備は戸谷片屋線までと聞いていますが、周辺道路の円滑な交通を確保するため、市道第4281号線まで伸延が必要と考えます。

A 2：都市計画課長

村国中央線は、旧JA国高支店の前の道路を北に伸ばして、瓜生町で整備中の「瓜生水と緑公園」の南側の市道第4360号線（中新庄瓜生線）までを結ぶ都市計画道路です。

村国中央線の北への延伸が必要というご意見ですが、市といたしましては、現在進めています戸谷片屋線の整備にあわせて、馬上免町の神社の北側あたりで戸谷片屋線につなぐことを最優先に取り組んでいるところです。中新庄瓜生線の整備も全精力で行い、事業効果を上げていきます。

村国中央線をさらに北へ延伸することについては、重要な都市計画道路であり必要性は十分認識しておりますが、まずは、現在取り組んでいる戸谷片屋線や中新庄瓜生線（高木）などの整備を進め、早く事業効果を出していきたいと考えています。

整備が必要な都市計画道路は多数あり、これら未整備の道路に対する要望も数多く寄せられています。その中で、戸谷片屋線や中新庄瓜生線の次に整備する路線につきましては、今後、道路財源の確保と合わせ、市全体の交通ネットワークを検討していく中で、優先順位を決定していく必要があると考えておりますのでご理解をお願いします。

また、道路の整備につきましては、用地の確保が最優先となりますので、今後とも、地域及び地権者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

Q 3：稲寄町区長

市庁舎建設について、合併協議では、日野川東部国道8号線沿いの地域を優先候補とされているが、予定通り進められるのでしょうか。民間開発が進んでおり、色々な話を聞いているので、予定のところに建つのかお答えいただきたい。

A 3：市長

新庁舎建設は合併協定に基づく課題で、現庁舎が耐震上の課題もありますので、協定内容を尊重しながら取り組む必要があると考えています。先ほども説明しましたとおり、平成21年度におきましても、財政状況が厳しい中ではありますが、補正予算と合わせて、約1億6500万円の基金を積み立てるということです。

これは、計画的に庁舎建設に取り組みたいという私自身の強い決意の一端であることをご理解いただきたいと思います。

なお、場所については、先ほど触れられたとおり、日野川東部国道8号沿いで北部を中心とするという以上の特定はしておりませんので、協定内容を踏まえ基金の積み立てをにらみながら検討を深めていきたいと考えています。

Q4：稲寄町区長

<下水道工事関連事項について>

東部下水処理場が9月を目途に供用を開始すると聞いておりますが、各家庭の接続手順・スケジュール及び接続奨励金制度についてお尋ねします。

A4：水道部理事

東部公共下水道については、皆様のご理解とご協力により、お蔭さまで9月より一部供用開始が行える運びとなりました。これにより、下水道管が敷設された地域の皆様には公共下水への接続が可能となります。皆様には、何卒早期の接続にご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、供用開始に向けて、今後、5月から8月にかけて順次、各町内ごとに説明会を開催させていただき、接続手順やスケジュール等に関する説明、ご協力のお願いをさせていただく予定です。

各家庭でのおおまかな水洗化接続工事手続きの流れですが、市では、適正な接続工事が行われるよう指定工事店制度をもっています。指定工事店に見積依頼をしますと、工事店が代行して申請手続き等を一切することになっています。市内には58社の指定工事店がありますので、よろしくお願ひします。工事完了後、市で検査をして、その後、助成制度が適用されます。

次に、下水道への早期接続を促進するための助成制度として、接続工事を行う場合の工事資金の融資や奨励金の制度を設けております。(別添資料「助成制度」にて説明)

ぜひ本制度をご利用いただき、早期の接続にご協力を賜りますようお願いいたします。

Q5：稲寄町区長

瓜生水と緑公園の工事概要・完成予定時期についてお尋ねします。

A5：都市計画課長

本公園は、越前市東部に位置する地区公園で、計画面積4.4haの公園です。市民の身近なレクリエーションや憩いの場を創出するとともに、隣接する東部水循環センター(下水道処理施設)と一体的に整備することで、水の循環を実感することができる水と緑をテーマとした公園整備に取り組んでいます。

工事の概要ですが、公園の北側部分は自然散策体験ゾーンとして、洪水調整池を兼ねた大池を配置した親水広場や東屋(休憩所)、エントランス広場、駐車場を配置し、これらに

については今日までに一部整備を終えています。また、公園の南側部分は運動施設ゾーンとして、屋内軽運動場や自由広場、みどりの広場、駐車場を配置し、これらについては今後順次、整備をしていく予定です。

なお、本年度は、公園南側の軽運動場の造成工事と建築工事を予定しており、本年度中の供用開始を目指していますが、埋蔵文化財の発掘調査の結果によっては、供用開始が遅れる可能性もあります。

公園全体の完成予定時期は、一部用地の確保がされておられませんので、地元の皆様のご理解とご協力のもと、用地買収と整備の促進を図り、一日も早い完成を目指します。

市の財政状況が非常に厳しいこともあり、現時点では完成時期の提示ができませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q 6：稲寄町区長

<村国山(芦山公園)に対する施策について>

西山公園や花筐公園に比べると、寂れているというのが地元の共通感覚です。市でも、最低限度の維持管理はしていただいていると思いますが、地元有志や振興会、ボランティアが維持管理しているのが現状です。

そこで、緑の保全区域としての機能維持のみを目的にしているのか、市民の憩いの森としての機能充実を図る計画を持っているのか、公園に替わる地域開発の計画を持っているのか、公園機能の自然消滅を待っているのかをお聞きします。

A 6：都市計画課長

村国山の芦山公園については、市街地の中にあって貴重な自然環境に親しめる場であるとともに、市街地の良好な風景を形作る大切な里山でもあり、市の都市計画マスタープラン等でも、市街地環境を形成する上で重要な緑地と位置付けられています。

これまで、本来の自然環境を保全しつつ、市民の憩いの場として利用できる公園として整備を行って参りましたので、現在では公園の整備事業は完了し、今後、新たな開発や整備の計画はございません。

今後も引き続き、芦山公園が多くの人に親しまれるように、市としても適正な維持管理に努めますとともに、市民との協働により、自然に親しめる公園の魅力をさらに高めていきたいと思えます。

そのためには、NPOや自治振興会、学校など地域の皆様が以前から取り組まれています。公園をテーマとした様々な活用や公園を守り育てる活動を、今後も継続、発展させていただきますようお願いするとともに、市としても、その取組みに協力していきたいと考えています。

Q 7：稲寄町区長

<国高小学校耐震改修工事について>

昨年要望して1年早くなつたと聞いていますが、耐震改修工事を1年でも早く取り掛かって子どもの安全管理に努力していただきたい。

A 7：市長

国高小学校南校舎の耐震診断結果はDランクです。平成24年度に設計、平成25・26年で改築工事をしたいと思っています。

現在、毎年度2校ずつ改築を進め、2～3校ずつ補強工事を行っています。国高小学校より先に耐震化を行う学校は、診断結果が悪いEランクのところばかりです。そこを、限られた予算、マンパワーの中で出来るだけ早く国高小学校までつなげたいということで、昨年11月に全体計画を2年前倒ししたところです。

市も財政的に相当厳しい状況ですので、お気持ちは十分受け止めまして、今後、国や県の対応も確認しながら検討を深めたいと思いますが、2年前倒しをしたということで、ご理解いただきたいと思います。

Q 8：稲寄町区長

<主要地方道武生美山線の歩道未整備箇所（福井新聞国高販売店前）について>

昨年も質問しましたが、主要地方道武生美山線の歩道が一部分だけ整備されていません。高校生の通学や通勤の自転車等、安全面からも早急に整備をお願いしたい。

A 8：都市計画課長

昨年もご要望のありました武生美山線の歩道が整備されていない箇所については、県の丹南土木事務所に文書及び直接強く要請しています。県においても、早く解消したいと用地交渉に努力しておられますが、残念ながら用地のご協力が得られず、進展していない状況です。今後とも市、県が連携して、引き続き粘り強く取り組んでいきますので、ご支援をお願いします。

Q 9：振興会事務局長

<国高公民館の整備について>

国高地区のまちづくり、ひとづくり、防災の拠点である公民館ですが、新しいにもかかわらず部屋数が少ないため、各種団体の活動が活発化する中、稼働率が高く、部屋の取り合いが起っています。

高齢者はイス席の部屋を望みますが、1階には狭い研修室しかなく、和室は立ち座りが大変なので、やむなく2階へ上らなければならないことが多々あります。地区には児童館や式部ふれあい館等他に施設はありますが、公民館がやはり使い勝手がよいので、公民館の改修、増築を望みます。

A 9 : 生涯学習課長

国高公民館の利用者数は、他の公民館に比べて多く、20年度は約2万1千人の方が利用しています。しかし、公民館の改修や増築については多額の経費がかかり、厳しい財政状況の中、学校施設の耐震化など多くの財政需要を抱える現状においては、当面、改修や増築は困難であると考えています。

つきましては、近隣の「国高児童センター」、地区内の「働く婦人の家」、「国高労働福祉センター」、「国高ふれあいセンター」等の有効利用をはかり、人づくりやまちづくりに活用していただきますようお願いします。

【一般質問】

Q 1 0 :

<村国山について>

村国山に、桜の木を植えられるような場所を造成し、結婚や出産などで記念植樹をしたらどうでしょうか。

A 1 0 - 1 : 都市計画課長

良いアイデアだと思います。記念植樹をすれば、愛着を持って村国山を訪れてくれると思うので、可能かどうか検討したいと思います。今まで、たけふ市民の森ワークショップさんなどNPOでも、植樹に取り組んでおられるので、協働してやっていきたいと思っています。

A 1 0 - 2 : 市長（補足）

例えば、武生ライオンズクラブが「瓜生水と緑公園」で現在植樹に取り組み、壮年団体連絡協議会が丹南総合公園で桜の植樹を計画的に行いたいという考えも持っており、このように民間団体の力があると、市の事業もより進みやすくなるかと思っています。

国高地区も、すばらしい住民パワーのある地域ですので、地域でもご検討いただき、いいご提案がありましたら、市も一緒に考えていきたいと思っています。

民間の皆様の取り組みも、市にご相談があればお願いしたいと思いますし、村国山の問題等も合わせて、一緒にご提案をさせていただきたいと思っています。

Q 1 1 :

<リーダー養成について>

地域の活性化について、リーダー養成が遅れています。市で委員の委嘱等いろいろされていますが、その方たちが、もっと元気に活動できるように指導してほしいです。お互いに横の連携をもって、地域の元気づくりにボランティア活動などで活躍できるように指導すべきだと思います。

A 1 1 : 市民自治推進課長

自治振興会についても、地域のリーダー的な方々が立ち上げ、設立当時から現在まで地域振興のために活動していただいています。現在、各地区の役員の方々の世代交代の時期に来ていると思いますので、地域活性化のための後継者育成事業について真剣に取り組み、検討を進めております。結論が出るまでお待ちいただきたいと思います。

Q 1 2 :

< 地域文化について >

過度な経済成長で便利さ等が優先され、成人式や体育の日、または地域の祭等の行事日程が日曜日に動いたりするのでは、地域文化がすたれてしまうと思います。心の憲法を大事に、日本の文化を守るべきではないでしょうか。

A 1 2 : 教育委員会政策幹

祝日については、国の法律ですので、市ではいかんともしがたいことです。地域の文化については、長い歴史の中で引き継がれてきており、地域の方々と話し合い、決め事をされたらどうでしょうか。教育委員会ができることがあれば、相談をお受けしたいと思いません。

Q 1 3 :

< 小学校耐震化について >

工事が2年前倒しになったことはありがたいが、それまで何もしないというのはいかなものでしょう。南側の校舎の診断が悪いならば、いつも児童がいる場所を変えるなど、改築するまでの間の方策はないのでしょうか。耐震工事をすべきとはいわないが、一番悪いところに児童が長くいないようにしてほしいと思います。

A 1 3 - 1 : 教育総務課長

余裕教室はありますが、空き教室はございません。子ども達が利用しやすい方法で場所が変わることについては、学校と相談して検討していきたいと思いません。

A 1 3 - 2 : 市長

学校施設耐震化推進計画では、福井大学の教授に指導を受けてまいりました。縦揺れ・横揺れの共鳴の仕方等の色々な状況により、Eランクが大丈夫でも、Cランクが大きな損傷を受けるということもあって聞いています。

また、Is値というものがあり、ある数値より下のもので、補強または改築したほうがより無難だという指導をうけたものについては、当面の課題としてきちんと対策を進めてい

ます。市役所そのものが一番悪いEランクで厳しい状況ですが、先生がおっしゃるには、日本建築の手抜きは、中国のように考えにくいので、柱がなくなり、ストンと全部が潰れてしまうというようなことは、よほどのことがない限りありえないということです。柱等に大きな損傷を受け、建物として二度と使えなくなったとしても、生命上全員が下敷きになり潰れてしまうというようなことは通常心配しなくて良いと聞いています。

一番大切なことは、きちんと調査し、情報を完全に公開し、計画的に改築・補強を行うことです。それまで何も対策をしないというわけではなく、通常地震が起きた場合に、速やかな避難をするために、子ども達の安全をどう守るかについて、学校も指導しています。Dランクだから中国四川省と同様な事態に追い込まれるという理解はなさらないでください。

大切な子ども達の問題ですので、できる限り早く全ての学校を改築・補強できるように、市として精一杯努力しているということをご理解いただきたいと思います。

閉会